

平成 20 年 2 月 14 日

神奈川県知事
松 沢 成 文 殿

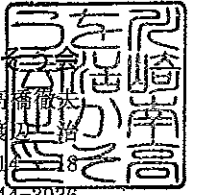
川崎南高を活かそう会

代 表 高橋徹太

事務局 渡辺一治

川崎市川崎区鋼管通 4 - 14 - 8

Tel 044-344-6520 / Fax 044-344-3936



旧県立川崎南高校の解体工事強行着工に対する緊急の抗議と要望

冠省

かねてより再三にわたり要望している旧県立川崎南高校の再利用に関わる問題について、強く抗議いたします。

「川崎南高を活かそう会」は、県民の貴重な財産である「旧県立川崎南高校」を壊さないで、住民の福祉や教育のために再利用させてほしいと活動してきました。

しかし住民の声の高まりを無視し、県は解体業者に解体着工を指示し、解体準備に着手しました。解体準備に着手したのを近隣住民が知ったのは、2月1日(金)のことです。翌2日(土)に仮設の現場事務所が搬入される予定であることを知った住民は、早速2日(土)朝7時半より、川崎南高校門前にて座り込みを始めました。

2日(土)は、県の電話はまったく通じず連絡が取れなかったため、解体業者の方をお願いして、土曜と4日(月)の作業を中断していただきました。

また、4日(月)には神奈川県知事に対し「旧県立川崎南高校の再利用に関わる抗議と要望」をいたしました。趣旨は、解体工事の中止と川崎南高建設時の設計図書の開示、住民によるアスベストの立ち入り調査を強く求めるものです。

一方、今週に入ってから毎朝7時半より川崎南高校門前にて、県に対する抗議行動を行っており、座り込みは14日(木)で12日目になります。

先週7日(木)は、県と2度の衝突がありました。このために県は15人もの人数をそろえ、スクラムを組む私たちを解こうとして私たちとぶつかりあいました。

1回目の衝突では、県が資材を積んだ工事車両を敷地に入れるために、私たちの車を撤去させようと、通行人を装って警察に連絡したようです。車を移動した後に門から入ろうとした工事車両を止めるため、私たちはスクラムを組んで塞ぎました。

2回目の衝突では、1度目の衝突のあと、工事車両に積んだ資材を、門の横の塀から歩道を超えて手渡しで運び込もうとしたため、そのすぐ横に住民が立ちふさがり、それを引きはがそうとする神奈川県と歩道上で揉みあいになり、周辺がまた騒然としたため、トラックは引き返しました。門以外の塀から歩道上を越えて資材を搬入するなど、住民の安全をまったく無視した、非常に危険で非常識な方法であり、言語道断です。

しかもその直後、住民説明会で提示された箇所とは違う、裏の元 UR の敷地から塀ごしに資材を運び入れ、それを使って高さ約 1.8 メートルのバリケードを作りました。これからは裏の元 UR 側から全ての資材を搬入するつもりなののでしょうか？ このルートを使うのは、解体工事の説明会での住民に対する説明とは明らかに異なり、約束違反です。また、このルートを使うのであれば新たにルート

変更になる旨を近隣住民に説明する必要があるのは当然のことです。

先週6日(水)の時点でも、県は解体業者に依頼して、交通事故が多発している踏切のすぐそばにある小さい門からの資材搬入のためのルートを確保しようとする作業を行っております。もし、この門から搬入をするのであれば、これも約束違反ですし、近隣にかなりの危険を及ぼす行為です。

このような不誠実な神奈川県への対応に強く抗議します。また、強い要望が出ているのを目の前にしても住民との対話の席に着くことなく、非常識かつ危険な方法で工事を強行しようとすることに對する、知事の見解をお聞かせください。

近隣住民が納得できる説明を行うまでは、地域住民の安全を全く無視した危険な解体工事は、早急に中止してください。そして、住民が強く希望する立ち入り調査をさせていただくとともに建設時設計図書を早急に開示していただくよう要望します。

以前にお送りした要望書でまだ回答を頂いていない分も合わせて、文書にて2/20(水)までにご回答いただきたいと思います。

草々